

統合に向けた3校の生徒交流活動について

【交流活動のねらい】

- ① 統合に伴って通学する学校が変わる生徒の不安を軽減し、出身地区に誇りをもって、新しい環境での学校生活が円滑にスタートできるようにする。
- ② 統合後に閉校となる太平中、下北手中の在校生が、それぞれの学校の伝統や文化を城東中に託し、安心して卒業できるようにする。

【留意事項】

- 各学校の教育課程に支障が出ないように、見通しをもってゆとりある計画を立案する。
- 統合後に閉校となる太平中、下北手中の生徒や保護者、地域の方々の心情を最優先に配慮する。
- 費用対効果、労力対効果、時間対効果を考慮して活動を行う。

【主な交流計画（案）】

年度	月	太平中学校	下北手中学校
令和3年度	1 1	○生徒会執行部 リモート交流① 2	
	2	○生徒会執行部 リモート交流② 2	○生徒会執行部 リモート交流① 2
令和4年度	5	○生徒会執行部 リモート交流③ 2	○生徒会執行部 リモート交流② 2
	7	◆生徒間交流① 交流授業（1年） 1	◆生徒間交流① 交流授業（1年） 1
	9	◆生徒間交流② 学校祭参加（1年） 1	◆生徒間交流② 学校祭参加（1年） 1
	1 1	◆生徒間交流③ 交流授業（1年） 1	◆生徒間交流③ 交流授業（1年） 1
令和5年度	2	○生徒会執行部 リモート交流④ 2	○生徒会執行部 リモート交流③ 2
	5		○生徒会執行部 リモート交流④ 2
	7		◆生徒間交流④ 交流授業（1・2年） 1
	9		◆生徒間交流⑤ 学校祭参加（1・2年） 1
	1 1		◆生徒間交流⑥ 交流授業（1・2年） 1
	2		○生徒会執行部 リモート交流⑤ 2